

強靱化へ尽力決意

札幌建協・新年交歓会

担い手確保や働き方改革も



札幌建設業協会は4日、札幌ランドホテルで新年交歓会を開いた。会員や来賓ら約370人が出席。北海道の中枢機能を有する道央圏の強靱(きょうじん)化や担い手確保、働き方改革に尽力することを決意した。岩田圭剛会長は、昨年の北海道胆振東部地震などの災害に触れ、被災者に対してお見舞いの言葉を贈るとともに、「建設

ことしの繁栄を願って盛大に鏡開きをした

業界が、いかに地域にとつて重要か、その使命や役割が広く理解され、自身も再認識した」と総括。その上で、「建設業が地域の安全・安心を守るといふ使命を果たすためには安定した経営基盤を築いていくことが重要」と強調した。

大きな伸びを見せた2019年度の北海道開発事業費に關しても「目的や効果が発揮できるような全力で取り組む」と決意表明。担い手確保や働き方改革についても協力を求めた。

来賓の水島徹治北海道開発局長は災害対応などに感謝の意を表すとともに、社会資本整備推進への協力を要請。高橋はるみ知事や秋元克広札幌市長は社会インフラ整備の取り組みに意欲を示していた。

その後、岩田会長や伊藤義郎名誉会長ら6人が鏡開きをし、北海道建設業信用保証の吉田義一社長が乾杯の発声をして祝宴入り。ことし1年の抱負を語り合ったほか、建設業PR漫画の動画版も公開された。

31.1.-7
北海道建設新聞

新時代の建設業目指す

札幌建協が新年交歓会開催

札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は4日、札幌ランドホテルで新年交歓会を開催した。岩田会長は新しい元号となる節目の年になることにふれた上で「北海道の発展とともに歩んできた建設業の歴史を胸に、地域に信頼される新たな時代の建設業を目指す」と強調。協会の役割として「北海道の中枢機能をもつ道央

圏の安全・安心を確保していく」と訴えた。会場には会員企業の関係者のほか、本道選出国會議員、関係行政機関、経済界等の来賓を含めて約370人が出席した。岩田会長は北海道胆振東部地震の復旧・復興に業界



ことしの抱負を語る岩田会長

一丸となって取り組んでいくことし「あらためて地域の安全・安心を担うのが建設業だと認識した」と指摘。働き方改革では官民挙げての「大きな力」が必要だと呼びかけ、担い手の確保を図っていくため「高校生や大学生、小・中学生や保護者にも建設業を正しく理解してもらおう活動を進めていく」とし、結束を求めた。

来賓祝辞では、北海道胆振東部地震の復旧・復興に業界

31.1.-8
北海道通信

旧・復興や新年度予算案の対応で開発局の水島徹治局長が「迅速かつ効率的な執行に努めていく。協力をお願いする」、高橋はるみ知事が「道民の生活を支えるにはインフラの強靱化が不可欠と理解している」と建設業の力添えを要請した。このあと、伊藤義郎名誉会長、岩田会長、吉田義一北海道建設業信用保証(株)社長、水島局長、高橋知事、札幌市の吉岡亨副市長の6人が鏡開きを行い、吉田社長が音頭で乾杯。出席者は各テーブルで新年の幕開けを祝うとともに、協会がイメージアップで制作に取り組んできたPR動画「ただ今工事中」建築工事編」を上映し、アニメと建築中の建築現場の実写を取り込んだ2・5Dアニメーションを出席者全員で視聴した。